

参考文献

第1章

- 渡辺偉夫：『日本被害津波総覧』第2版，東京大学出版会，1998年。
- 菅原大助・箕浦幸治・今村文彦：『西暦869年貞観津波による堆積作用とその数値復元』、『津波工学研究報告』第18号，東北大学大学院工学研究科，2001年。
- 森嘉兵衛：『奥羽社会経済史の研究』，法政大学出版局，1987年。
- 都司嘉宣・上田和枝：『慶長16年(1611)，延宝5年(1677)，宝暦12年(1763)，寛政5年(1793)，および安政3年(1856)の各三陸地震津波の検証』、『歴史地震』11巻，歴史地震研究会，1995年。
- 今村明恒：『三陸沿岸に於ける過去の津浪について』、『地震研究所彙報』別冊第1号，1934年。

第2章

- 国立歴史民俗博物館：『ドキュメント災害史』，2003年。
- 羽鳥徳太郎：『歴史津波とその研究』，海洋出版，1981年。
- 渡辺偉夫：『日本被害津波総覧』第2版，東京大学出版会，1998年。
- 阿部勝征：『津波地震とは何か』、『月刊地球』，Vol. 25，海洋出版，2003年。
- 阿部勝征：『津波地震に関する研究の現状』，東北大学大学院工学研究科『津波工学研究報告』第12号，1995年。
- 宮城県：『宮城県海嘯誌』，1903年。
- 岩手県南・西閉伊郡役所：『南閉伊郡海嘯記事』，1897年。
- 東陽堂：『風俗画報』臨時増刊第百十九号，海嘯被害録中巻，1896年。
- 伊木常誠：『三陸地方津浪実況取調報告』、『震災予防調査会報告』第11号，1896年。
- 卯花政孝・太田敬夫：『明治29年6月15日 三陸沿岸大海嘯被害調査記録 - 山奈宗真- 』、『東北大学工学部津波防災実験所研究報告』第5号，東北大学工学部，1988年。
- 遠野市教育文化振興財団：『遠野の生んだ先覚者 山奈宗真』，1986年。
- 大船渡市博物館：『津波をみた男・100年後へのメッセージ』，1997年。
- 巖手県海嘯誌。
- 巖手公報，明治29年。

第3章

- 巖手県海嘯状況調査書。
- 宮城県：『宮城県海嘯誌』，1903年。
- 岩手県南・西閉伊郡役所：『南閉伊郡海嘯記事』，1897年。
- 山下文男：『哀史三陸大津波』，青磁社，1997年。
- 岩手県：『岩手県管内海嘯被害戸数及人口調書（7月15日調）』。
- 岩手県：『岩手県統計書』，1896年。
- 岩手県田老町：『地域ガイド，津波と防災～語り継ぐ体験』，1995年。
- 東陽堂：『風俗画報』臨時増刊第百十八号，海嘯被害録上巻，1896年。
- 岩手県：『明治二九年地方事務及管内景況報告』。
- 岩手県：『岩手県史』，1972年。
- 国立天文台編：『理科年表』，2004年。
- 伊木常誠：『三陸地方津浪実況取調報告』、『震災予防調査会報告』第11号，1896年。
- 巖手公報，明治29年。

毎日新聞, 明治 29 年.
東奥日報, 明治 29 年.

第 4 章

巖手県海嘯状況調査書.
岩手県:『岩手県統計書』, 1896 年.
巖手県海嘯状況調査書.
岩手県南・西閉伊郡役所:『南閉伊郡海嘯記事』, 1897 年.
巖手公報, 明治 29 年.
毎日新聞, 明治 29 年.
東奥日報, 明治 29 年.

第 5 章

巖手県海嘯状況調査書.
岩手県南・西閉伊郡役所:『南閉伊郡海嘯記事』, 1897 年.
宮城県:『宮城県海嘯誌』, 1903 年.
岩手県:『岩手県統計書』, 1896 年.
伊木常誠:『三陸地方津浪実況取調報告』, 『震災予防調査会報告』第 11 号, 1897 年.
東陽堂:『風俗画報』臨時増刊第百十八号, 海嘯被害録上巻, 1896 年.
東陽堂:『風俗画報』臨時増刊第百十九号, 海嘯被害録中巻, 1896 年.
巖手公報, 明治 29 年.
東奥日報, 明治 29 年.

第 6 章

岩手県南・西閉伊郡役所:『南閉伊郡海嘯記事』, 1897 年.
山口弥一郎:『津浪と村』, 東京恒春閣書房, 1943 年.
田中館秀三・山口弥一郎:『三陸地方に於ける津浪に依る聚落移動』, 地理と経済, 日本経済地理学会, 第 1 巻, 第 3 号, 1936 年.
宮城県:『宮城県海嘯誌』, 1903 年.
巖手県海嘯状況調査書.
岩手県:『岩手県統計書』, 1896 年.
岩手県教育委員会:『岩手近代教育史』第 1 巻, 1981 年.
岩手県:『岩手県漁業史』, 1982 年.
渡辺偉夫:『日本被害津波総覧』第 2 版, 東京大学出版会, 1998 年.
ベンネット夫人編著:『アルバート・アーノルド・ベンネット その生涯と人物』, 関東学院大学, 1985 年.
巖手公報, 明治 29 年.
東奥日報, 明治 29 年.

第 7 章

東陽堂:『風俗画報』臨時増刊第百二十号, 海嘯被害録下巻, 1896 年.
東陽堂:『風俗画報』臨時増刊第百十八号, 海嘯被害録上巻, 1896 年.
岩手県南・西閉伊郡役所:『南閉伊郡海嘯記事』, 1897 年.
今村明恒:『震災予防調査会報告』第 29 号.
中央气象台:『験震時報』第 7 巻, 第 2 号, 1933 年.

巖手県海嘯状況調査書.

宮城県：『宮城県海嘯誌』, 1903 年.

九里十太郎：『田野畑の大津波——伝承と証言——』.

首藤伸夫：『津波に対する効果と限界——過去の事例による判定——』, 『東北大学工学部津波防災実験所研究報告』第 2 号, 東北大学工学部, 1985 年.

山口弥一郎：『津波常習地三陸海岸地域の集落移動』, 『山口弥一郎撰集』第 6 卷, 世界文庫, 1972 年.

造家学会：『建築雑誌』第百二十一号付録, 1897 年.

北原糸子：『東北三県における津波碑』, 『津波工学研究報告』第 18 号, 2001 年.

Lafcadio Hearn：『Gleanings in Buddha-Fields』, Boston and New York Houghton, Mifflin and Company, 1808.

国土庁, 農林水産省構造改善局, 農林水産省水産庁, 運輸省, 気象庁, 建設省, 消防庁：『地域防災計画における津波対策強化の手引き』, 1997 年.

巖手公報, 明治 29 年.

毎日新聞, 明治 29 年.

東京新聞, 明治 29 年.